

S S T L

NO. 77 2022. 9. 4

職場参加ニュース

学校、職場、暮らし—迷いながらわが街で一緒に生きる

NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会 2022年度定期総会・記念シンポを開催しました!



6月26日(日)、2022年度定期総会と、記念シンポジウムを開催しました。定期総会では、世一緒にの現・元障害者スタッフなどが前に出て、自己紹介や最近の様子を話すなどしました。後半では、記念シンポジウムとして人生のスタート地点である子ども時代をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

2022年度定期総会を行いました



6月26日(日)13時よりNPO法人障害者の職場参加をすすめる会の定期総会を、越谷市中央市民会館5階の第4、5、6会議室で開催しました。総会司会を野島久美子さんが務め、まず山崎代表理事が挨拶を行い、ついで越谷市長福田晃さんからいただいたメッセージ代読が行われました。

正会員68名のうち本人出席32名、委任状9名で総会として成立していることが報告されました。

議長に門間愛さんが選出され、原和久さんの補佐の下に議事が行われました。

まず2021年度事業報告については、議案が事前に正会員全員に郵送されていることもあり、会の本部事業や就労移行・就労継続B多機能事業所「世一緒」に関わっている障害当事者たちから、一言ずつ日常活動を報告して、提案を補足しました。

当法人の事業は、2022年度も2021年度と同様に、東越谷の職場参加ビューロー世一緒を足場とする本部事業とせんげん台の就労移行・就労継続B型多機能事業所「世一緒」及び指定特定相談支援事業所「世一緒」において実施されます。

最後に、次の6名の方々(尾谷英一、山崎泰子、原和久、松田和子、日吉孝子、松尾晃史)が今期の理事候補として、また次の2名の方々(伊藤紀康、平岩和好)が監事候補として推薦され、満場一致で選出されました。以上で総会の議事をすべて終了し閉会しました。総会后、休憩をはさんで記念シンポジウムを開催しました。

2022年度会費、寄付、協力費、かきくけP費ご納入ありがとうございました

(五十音順、敬称略)

【2022年度会費】

青木繁明 朝日雅也、石田貴美子、伊藤紀康、岩崎廣司、内野かず子、大坂富雄、大田ちひろ、大武昭、沖山稚子、尾谷英一、及木聡、黄川田仁志、木下恭子、越野操、佐藤恵美子、島根淑江、鈴木照和、関一幸、竹迫和子、田島玄太郎、巽孝子、巽優子、谷崎恵子、津崎悦子、辻浩司、友堅由紀恵、中山佐和子、並木理、野村康晴、橋本克己、長谷川颯、幡本洋子、原和久、原田真弓、樋上秀、日吉孝子、前田直哉、松田和子、松田典子、松山美幸、水谷淳子、谷塚祥子、山川百合子、山下浩志、山崎かおる、山崎茂、山崎泰子、山崎有子、吉田久美子、吉原広子

【寄 付】

大坂富男、小野達雄、門坂美恵、小井戸恵子、斎藤信子、伝田ひろみ、高橋儀平、富沢一枝、長谷川颯、水谷淳子、野村康晴、山崎泰子

【運営協力費】

原田真弓、幡本洋子、田島玄太郎

【かきくけプロジェクト】

野村康晴

学校、職場、暮らし—迷いながらわが街で一緒に生きる

特別報告:門坂美恵さん



(狭山のペンギン村代表、どの子ども地域の公立高校へ埼玉連絡会、障害児を普通学校へ全国連絡会運営委員)

トラブル解決の経験が会社でも役立っている

いま隣に座っている息子・豊はいわゆる小児自閉症という診断を受け、かなり多動というか、手を放したらどこに行くか分からないような子だった。当時、障害者市民ネットワークが県と交渉していて「就学に際して本人・保護者の意思を尊重する」と約束してもらった時、息子は4歳。当時息子は特殊保育園に通っていたが、市と話をして途中で退園して普通の幼稚園へ、そして通常学級に進学した。

小学校、中学校、高校では正直色々あった。トラブルも。でも子どもたちは、何かトラブルがあった時にちゃんとどうしようかと皆で考える。今だと障害があっても通常学級にいと支援員がついたり、特別学級に行きましょうと言われてたりする。そういう誘いは断った。大人の目や手が入ると「問題の子を外せばいい」という話になるが、子どもたちはそうは考えない。自分たちでなんとかしようとする。

息子がパニックになって相手に怪我をさせてしまったことがあったが、オウム返しばかりしていた息子が相手にやり返すのは初めてだったので、親としては成長を感じて嬉しかった。そんな話をしながらいろいろ報告とか聞いているうちに、先生も相談相手になってくれた。

そうやって子どもたちの中でトラブルを解決してきた経験が、今の会社でもすごく役立っている。息子はミスをしたり怒られたりして時々深刻な顔で帰ってくるが、立ち直りが早くて次の日には元気に会社に行っている。「昨日はごめんなさい」と言ってからまた仕事を始める。ちゃんとトラブルを解決する、謝ればいい、人間関係が壊れてなくなってしまうということ

は無いと、小学校から高校まででの体験から身につけて、役に立っているんだと思う。

パネルディスカッション



朝日雅也さん:(埼玉県立大学教員)

門坂さん、豊さん含めて登壇している皆さんに、特別報告の感想やテーマに基づいてご自分のお話をお願いします。

門坂美恵さん:豊は今仕事は楽しい?

門坂豊さん:楽しいです。はつかり麵株式会社、神戸物産です。

門坂美恵さん:新人さんにちょっかひを出されたりするらしく、家で愚痴を言うこともあります。そこで嫌だと逃げ出さない息子の強さを感じながら聞いたりしている。

門坂豊さん:会社に勤めて17年になります。会社の人に「頼むよ、期待しているよ。」といわれるのが一番うれしいです。トラブルもあるかもしれませんが一生懸命頑張ります。

親が教えてくれた地域での生き方



坂口佳代子さん(地域活動支援センターめだか工房施設長)

「親は順番で先に逝くのでお前が親無しで生きていけるようにしなくてはいけない」というのが、私の母の常々の言葉だった。自分

でできることは自分でやる、後のことは自分以外の

いろいろな人に助けをもらいながらやってきた。子どもたちの力も大きい。2年半ほど前から母たちが立ち上げたためか工房の施設長に。母が私に教えてくれた、自分でできることはやって、困ったら誰かに相談できる雰囲気づくりを。今はコロナでイベントなどができず、早く通常の事が出来ればと思う。母がどういう思いでめだか工房を立ち上げたのか今の職員や通所者に伝えていきたい。

障害者が一流の仕事人で地域連帯の担い手にも

尾谷英一さん(株式会社ニューオタニ社長)



うちは、一昨年までは自分の弟がいたが、今は働いてくれている4人全員が障害者。靴の底を作って、今はリーガルさんの靴の底を作ることが一番多い。

皆さんうちに来てもらうとびっくりすると思う。彼らは障害者なのかと。それぐらいの働き方。

当時自分の仕事で不良品を出しても言うことができなかつたのが30年くらい経って言えるようになったり。大したものだと思う。あとは、皆戸締りや電気とかの確認が皆できるから、自分も安心して任せられる。

うちはソフトボール、卓球バレー、カヌー、ティーボールなどいろいろなスポーツを皆でやって、地域のチームに入ったりもしてる。

地域の体育祭や盆祭りの準備の手伝いをしたり、カヌー体験で地域の商工会青年部、支援学級ボーイスカウト、幼稚園などと交流したり。そういうのが地域の人たちとのつながりになっている。



「うわべだけの理解」 どう思うか

朝日雅也さん：

ぶつかり合いが理解の基本。だが今の制度は最初からぶつかり合いを避けてしまう。学ぶ現場でも働く現場でも。表面的な障害者理解をどう思いますか？

門坂美恵さん：

息子が義務教育で通常学級に行ったのが大きい。義務教育では一緒にいなくてはならない状況が確保されてて、そこにいるのが当たり前になる。実際そうなる、一緒にいるんだからしょうがないと子どもたちも考えるんだと。支援員が入ると、パニックを起こした子とかを連れ出す。そうすると支援員はそういう人なんだと子どもたちが理解してしまう。それが恐ろしい。支援員の在り方を考えていかなければと思う。

坂口さん：

私の母は、門坂さんと同じように、普通学級に通わせるのが普通だと言っていた。今度は自分が親になって、PTA活動に参加すると無理しないでと言われてたりする。無理していないと、アピールしてかないと自分という存在をわかってもらえないし、障害があっても普通の生活ができると知ってほしい。自分をアピールしていくことで初めて理解してもらえと思う。

尾谷さん：

スポーツを地域でやってるのは大きいと思う。中学の同級生と再会したり、お母さん方も含め交流したり。うちでは障害のある子どもでも区別はしない。スポーツにおいては、障害の有無ではなく練習が大事だと。

○朝日さん：

地域で暮らして働く中でいろいろな人との出会いがあると思う。いわば応援団のような人に思いがけず出会って影響が大きかったというのは。

門坂さん：

狭山でペンギン村という会を立ち上げ、その活動を

知ってもらおうと「ゆたかスケッチ」を書き始めた。そしたら街中で知らない人から声をかけられたりと、たくさんのお会いが。今は地域の公民館で太極拳を息子と習いに行っている。

朝日さん：

積極的に門坂さんの方から出していくと。隠していくという方向とは真逆で。

将来どうしても親が先に年をとるが、豊さんにこんな人であってほしいとかはあるか？

門坂さん：

なぜ息子を自立させないのかとよく言われる。障害があるから早く自立させないと。一人暮らしさせるとなると、知らない人ばかりのところ暮らしすることになる。そうなるとなんのために普通学級に通わせて、地域で根を張って知り合いを沢山作ったのかと。そんな思いと一緒に住んでいる。自立させることは悪いこととは思わない。ただ、そうでない選択肢もあって良いと思う。

朝日さん：

障害があると親元を離れる、それを望んでいるということも多いが、両親を最後まで見守る、という視点もあるのかなと。

坂口さん：

母がずっと普通の子として育ててくれたのが根底にある。後は親以上にわがまま言っても受け止めてくれる人がいる。ママ友、同級生、めだか工房の人…身近な存在すべてが応援団だと思う。今は唯一連絡取り合うのがめだか工房の人ぐらいで狭い範囲で暮らしているので、もっと自分をアピールしていかないとと思う。

飯島さん：



門坂さんの「自立させようとしないうという選択肢もある」という話を聞き、私の周りにもいろいろな考えの人がいるなど。早くからグループホームに入れた親御さんもいる。

年齢がいくと離せなくなるというのが私自身もそう。娘を出したいと生活ホームの見学に行ったがやっぱりいいかと。いずれ別れは来るんだ

し、離すと今やっているスポーツにも行かなくなるし、そんな感じ。

○朝日さん：

共にはたらきあうことを実現するためには共に育ち合うことが大事。必要なのは子どもの頃から学び合うことだと感じている。

門坂さん：

知らないということが一番恐ろしい。多くの人に息子を知ってもらおうと、普通学級へ。息子のためにといいよりはこの子たちのためにうちの子が必要だったと。世の中に障害のある人がいるのが普通だと。一番自然に分り合っていくには小さい頃から一緒というのが一番だが、育ち合うことに遅いということはない。

坂口さん：

めだか工房で働く前にかっぽで働いていた時期が。そこで県の職員さんや店番団体の人たちと交流して、障害のある人とこんなに密に関われるのは新鮮だと感じた。これからもっと自分を出していきたい。

尾谷さん：

地域で暮らすというのが一番の課題かなと。

コメンテーターから：高橋儀平さん(東洋大学名誉教授、



文科省学校施設バリアフリー化の調査研究協力者等)

私の専門は建築なので、日々バリアフリーとかユニバーサルデザインについて考えたりするが、今日の話聞いて、「普通」って

なんだろうと。普通の中でも解釈はいろんな形があって、人それぞれ別の解を持っている。障害がある人の問題に出会い、地域ぐるみでやっていかないと感じた。でもそれはすごく難しいことだと、改めて感じた。門坂さんがおっしゃったように、出会うタイミングはいつでもいいのかなと。出会った後どういう対話をしていくかが重要だと感じた。

心配なのは、同じような環境のコミュニティの中だけで完結してしまうこと。これからは、関わっていない人たちに障害のある人やその家族がいかにかを伝える必要があると思う。

職場・地域ひろがりつうしん

●耳鼻科での除草作業



4月17日(月)、小雨の中、谷中耳鼻科駐車場での除草作業を行いました。職場参加ビューロー・世一緒が春～秋の毎月曜午後1時間の作業を請け負い、主に耳鼻科の近所でひきこもっている方や、障害のある方に仕事を提供しています。例えば短い時間で集中的に働くなど、その人に合った働き方・休み方を探していきます。

●かっぽフェスタ 開催!



～かっぽフェスタ～

5/18 (火)	あけぼの作業所(さいたま市)	焼き菓子・手芸品
	かやの木(さいたま市)	焼き菓子・手芸品
	ノイエ(さいたま市)	パン・焼き菓子
	ペル感ん村(さいたま市)	ペーパー・手芸品
	べしみ(さいたま市)	菓子
	徳島製パン(さいたま市)	パン・焼き菓子
	アザアザ製菓(さいたま市)	菓子
	たいむ(川口市)	焼き菓子
	第2川越いの子作業所(川越市)	せんべい・木工品
5/19 (水)	あけぼの作業所(さいたま市)	焼き菓子・手芸品
	あぐり(さいたま市)	菓子
	青葉とみゆの園(さいたま市)	手芸品
	ぬだの工房(さいたま市)	パン
	パタパタ(春日部市)	手芸品
	ゆめがら工房(さいたま市)	焼き菓子
	就労センター夢園(さいたま市)	お茶・ガラス製品
	たいむ(川口市)	焼き菓子
	パンラッコ(川口市)	焼き菓子
	第2川越いの子作業所(川越市)	せんべい・木工品

5月18日(火)、19日(水)に、県庁内福祉の店・かっぽの25周年フェスタが開催されました。新型コロナウイルスの影響で、3年ぶりの開催でした。県庁の「みどりの広場」に県内各地の20近くの障害者施設や団体が出店し、にぎわいを見せました。手作りの焼き菓子、パン、手芸品、野菜などが販売され、出店団体や来場者の楽しげな声が飛び交っていました。

●水辺の市 ウッドデッキ販売



せんげん台世一緒では、毎月第1・3・4火曜日に、ウッドデッキにて販売講習を行っています。写真は7月22日(火)に行われた「越谷水辺の市」の様子。野菜や、手作りの革工芸品などを売りました。水辺の市では越谷市の団体や商店が集まり、野菜や弁当、越谷の名産品、小物やお菓子などを販売しています。

●水上公園での共同作業



6月27日(月)の、しらこぼと水上公園での共同作業の様子。就労A型、就労B型、就労移行、生活介護の施設と、最近の福祉業界では出会う機会が少なくなってきた様々な人が一緒に働いているのが特徴です。この日は総勢25人で除草、花がら摘みなどを行いました。

●Love Shirakobato プロジェクト




毎週金曜の午後に行っているLove Shirakobatoプロジェクト。8月5日(金)には、県庁内福祉の店・アンテナショップかっぽへ。かっぽ内に最近設置された自動販売機に絵付けをしたしらこぼと笛を置いてもらえるか交渉したところ、一番上の右端に置いてもらえることに。

職場参加ビュロー一世一緒 2022.9.1~2022.11.30 カレンダー (2022年9月1日暫定)

2022年9月		2022年10月		2022年11月	
日中行事	ほか	日中行事	ほか	日中行事	ほか
1日 木	ほかがれ	1日 土		1日 火	
2日 金	しらこぼプロジェクト	2日 日		2日 水	当番会議
3日 土		3日 月	水上公園作業	3日 木	
4日 日		4日 火		4日 金	しらこぼプロジェクト
5日 月	耳鼻科除草	5日 水	せいごご(大田さん)	5日 土	
6日 火		6日 木	たそがれ	6日 日	わらじ大バザー?
7日 水	せいごご(水島さん)	7日 金	東越谷バザー物菜め?	7日 月	水上公園作業
8日 木	たそがれ	8日 土		8日 火	越谷水辺の市
9日 金	しらこぼプロジェクト	9日 日	バザー一値付け・しわけ?(写真科駐車場)	9日 水	せいごご(さん)
10日 土	から顔工全体集会	10日 月		10日 木	たそがれ
11日 日		11日 火	越谷水辺の市	11日 金	しらこぼプロジェクト
12日 月	水上公園作業	12日 水	せいごご(さん)	12日 土	
13日 火	越谷水辺の市	13日 木	たそがれ	13日 日	
14日 水	職場参加を語る会	14日 金	しらこぼプロジェクト	14日 月	水上公園作業
15日 木	たそがれ	15日 土		15日 火	
16日 金	しらこぼプロジェクト	16日 日	バザー一値付け・しわけ?(写真科駐車場)	16日 水	職場参加を語る会
17日 土		17日 月	水上公園作業	17日 木	たそがれ
18日 日		18日 火	耳鼻科除草	18日 金	しらこぼプロジェクト
19日 月	耳鼻科除草	19日 水	職場参加を語る会 Lunch Cafe どんごいしよ(吉田さま)	19日 土	
20日 火		20日 木	たそがれ	20日 日	
21日 水	ピアサポート研究会 Lunch Cafe どんごいしよ(平林さま)	21日 金	しらこぼプロジェクト	21日 月	水上公園作業
22日 木	たそがれ	22日 土		22日 火	
23日 金	しらこぼプロジェクト	23日 日		23日 水	
24日 土	サイトマおしやべ	24日 月	水上公園作業	24日 木	たそがれ
25日 日	東越谷バザー物菜めボスサイン	25日 火		25日 金	しらこぼプロジェクト
26日 月	耳鼻科除草	26日 水	ピアサポート研究会 せんげん台せいごご調理学さま	26日 土	サイトマおしやべり会
27日 火		27日 木	たそがれ	27日 日	
28日 水	せんげん台せいごご田名部さま	28日 金	しらこぼプロジェクト	28日 月	耳鼻科除草
29日 木	たそがれ	29日 土	サイトマおしやべ	29日 火	
30日 金	しらこぼプロジェクト	30日 日		30日 水	ピアサポート研究会せいごご(西藤一さん)
		31日 月	水上公園作業 耳鼻科除草		

の中は、リハビリを兼ねた1~3時間内の屋外のアルバイトです。グループでやるので、初めての方でも大丈夫です。素焼きの鳩笛の絵付けと、その普及・販売のための研修や営業活動です。は、障害のある人や他の人々が日替わりゲストとなって、暮らしや仕事を語り継ぎます。あなたもどうぞ！

○茶色の字のスケジュールは、主に連携団体の主催行事で、一緒に参加できるものの紹介です。

すいごごカフェ 9/7~10/5 1時半のゲスト 	
<p>9月7日(水) 水島 茂次さん 世一結障害者スタッフ</p>	<h2>私と人生けがと入院</h2> <p>人生をふりかえてみると、二度の大けがが曲がり角になりました。一度目は17歳。二度目は54歳。その時、働き方、人間関係がどう変わり、いまがあるのかを考えます。</p>
<p>9月14日(水) 澤 則雄さん 映画製作者</p>	<h2>HPV ワクチンのほんとうのこと</h2> <p>やまゆり園の映画に続き、子宮頸がんワクチン後遺症の映画を作り、小さな映画会を開いて回っている澤さんが、映画の短縮版を上映し、各地の実情を語っていただきます。</p>
<p>9月21日(水) 平林小太郎さん 熊谷CIL遊TOピア</p>	<h2>孤独の城を出た日から</h2> <p>片足を切断した若者は自らを孤独の城に幽閉した。その城を出た日のこと、それからの日々、同世代や次世代に伝えたいと思うことなど。</p>
<p>9月28日(水) 田名部 憲一さん くらしセンターべしお職員</p>	<h2>秋の夜長の映画の話</h2> <p>山形の大学時代、国際ドキュメンタリー映画祭で出会った「そっちやない こっちや」に衝撃を受け、障害者入所施設への就職からの長く曲がりくねった人生ロードムービー。</p>
<p>10月5日(水) 大田 ちひろさん 越谷市議会議員</p>	<h2>子どもを取り巻く環境を</h2> <p>越谷で4人の子育て中。高知県出身。越谷市民ネット代理人(越谷市議会議員)子どもに誇れる越谷。対話を重ねて、子どもをとりまく環境を良くしていきたい。</p>
<h2>すいごごカフェ/Lunch Café どっこいしょ</h2> <p>すいごごカフェも Lunch Café どっこいしょ(第3水曜)も、NPO法人障害者の職場参加をすすめる会が主催する誰でも参加できるひろばです。Lunch Café は12:00からキッチンとまとのカレー(コーヒー付き300円)が食べられます。第1、2、3、5水曜の会場は、ハローワーク越谷向かいの職場参加ビューロー世一結です(要予約048-964-1819)。どの日も13:30~15:00 ゲストトークがあります。街で生きる障害のある人ない人、いろいろな人が語ります。</p> <p>第4水の会場は、せんげん台イオン並びの就労移行・B型多機能「世一結」です。(せんげん台048-971-8038)</p>	

すいごご FRASH

●6月8日「地域の公立高校へ 障害生徒たちの今」／竹迫和子さん



ゲストは竹迫和子さん。(どの子も地域の公立高校へ埼玉連絡会事務局、障害児を普通学校へ全国連絡会世話人、元特別支援学校教員)。世一緒の入り口に貼ってあった職場参加をすすめる会の総会記念シンポジウムのポスターを見ながら、「小中学校で一緒に学ぶことが共に働く・暮らす出発点となる。でも高校を卒業して共に働くというのは難しい。連絡会で応援した70人余りの人の中でも10人足らず。」と、今の教育や就労の現状と思いを語った。

●6月15日「障害の奥へ向こうへ」 ／小井戸恵子さん



この日のゲストは小井戸恵子さん。生まれつきの障害で中3までは施設で育ったが地域の高校へ入学。その後市議となり政治参加していたがある議会中事故にあい重症に。今は、脳性麻痺者に行われた脳手術についての研究をしている。精神障害者に対して行われたロボトミー手術と違って、脳性麻痺者に対する脳手術はその実態が明らかにされておらず、社会問題にもなっていない。自分の親が、自分が足の手術をするとき少しでも普通の人に近づけてやりたいという考えだったことを思い起すと語る。

●6月29日「和歌山での出会いから」 ／志波美乃里さん



この日のゲストは埼玉県立大学の卒業生。大学卒業から7月の入社までの期間に、新たな出会いを求めて和歌山へ。和歌山での生活を振り返りつつ、そこでの楽しさや慣れない土地での苦勞、出会った人とのエピソードなどを語った。地元の人に「和歌山にまたいつでも帰ってきておいで」と言われ、そういう自分にとっての帰る場所があるというのはありがたいことだと語る。

●7月6日「鍛冶屋が生きてきた越谷」 ／森田貞次さん



太郎鍛冶屋は森田さんで5代目。祖父は義母に邪魔者扱いされ鍛冶屋に小僧として出され、家を継ぐことに。色々な苦勞を経た後に越谷へ移り鍛冶屋を開いた。そんな祖父の話をきくと、今の私達はもっと自分に厳しくしなくちゃと改めて思うという。

農閑期に鍛冶屋に農機具を修理してもらいに来て、一日茶飲み話をしてゆく農家の人々の暮らし、彼らを支配して反抗の気配があれば拳銃で撃ち殺すことすら黙認された大地主の話。戦後の土地ブームで激変し解体してゆく農家の人間模様…。さまざまな角度から歴史と文化の常識をときほぐす

世一緒スタッフ日記

11月

時間を見ながら

須藤 雅春

ゆっくりとしごとをやりませう。わたくしは、いつもにちがいそのままの時間にたいしていつものじかにたいしてこのようなじかんにたいしてこのようなじかおうをする。じかにたいおうする。

こおうするいつもにたいして、このようなじかんによりいつもの容志によって、これからの時間によってそれぞれの食事のないよう時間にたいして、これからいつまでもじかの仕事についてそのままのじかのやり方によってそれからのそのまのじかのやり方によってそれからのいつまでもどうりにたいしてこれからの時刻変こうせんをとおっていつものしごとについてこれまでのじかんにたいして、これまでのじかんにたいしていつまでもはたらき始めるようにすることになることもある。



世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるために、世一緒に関わっている人々を「スタッフ」と呼んでいます。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポート実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク等もしています。元スタッフ等からの近況報告も紹介されます。その後んげん台に就労移行支援・就労継続支援B型多機能事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援ももちろん、自主事業の世一緒(越谷)と連携して、多様な就労やピアサポートを支援し地域で共に生きる輪を拡げてゆきます。

それからのしやかいにたいおうし Rの熱化は誠に越谷市民としてはいつまでもこのままの時間によって嬉しい限りです。てそのままいくようにすることもあ

がんばっています

萱場 由梨

とまりの介助をがんばったり体力作りをしながらがんばっています。仕事はなれたけどたまに漢字を忘れていた時があるのでべんきょうしたり世一緒でさんすうをやったりみんなとたのしく一緒にがんばっていきましょうけんめいがんばっています。あと母さんの介助もがんばります。

異世界生活倶楽部

青木 将好

小林さんちのメイドラゴンの影響で、越谷も聖地となり、遠いところからの聖地巡禮者の増加及び観光Pから多くなります。

仕事と習い事と

山崎 有子

しゅうろうけいぞくA型越谷スタラで働いています。おもにしせつがいがんばっています。

しせつがいでは八潮の会社にいます。9月に新しくにゅうしよくした人のめんどろをみながら仕事がんばっています。その人に私がテープのはりかたをおしえたらサーポターさんにほめられて良かったです。

友達とウイイレ・フラダンスならいはじめました。今年の11月20日越谷市民文化祭に出ます。水辺の市でフラをやりますたのしみです。11月20日越谷市民文化祭で踊る曲はポップ曲ワイキキおどりですたのしみしています。タンクポップさんのイベントではじめてカイナマヒラおどってすごく良かったでした。これからもフラーにがんばります。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会